

富士宮市立貴船小学校 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和3年7月13日（火）

「火起こし体験で昔のト々の暮らしに関心をもてました。」

火起こし体験を実際に体験することで昔のト々の暮らしに関心をもつことを目的に、出前授業を計画してくださいました。今回は、火起こし体験をメインにして、発掘調査の話、土器の分類体験、の3つの体験を4学級で行いました。40分間で2学級まとめて火起こしをし、その時間で発掘調査の話と土器の分類を1学級ずつ行うということをしました。この工夫で、火起こし体験を長時間することができて、大満足のような様子でした。

◎火起こし体験



まず、もみきり式や弓きり式、などの火起こしの歴史をデモンストレーションしながら説明しました。その後、舞いきり式で火を起こすと拍手が起きました。次は、いよいよ舞いきり式で火起こし体験です。リズムよく弾み車を回し火種を作り、フーフータイムを頑張っていると火が起きました。煙が目にしみて苦労しましたが、いくつかの班が火を起こすことができ、とても満足そうでした。

◎発掘調査の話

小周辺の遺跡の話にメモをとりながら、意欲的に話が聞けていました。富士宮には遺跡が多くあることを知り、古代から現代までつながっていることを実感したようです。

発掘調査にまつわる話や遺物の保存方法の話など、画像を見ながら大変興味深く聞くことができました。貴船



◎土器の分類体験



まず、縄文・弥生・古墳時代の土器の違いについての話を聞きました。作り方や焼き方、使い方などの違いについて話を聞いた後、静岡県内で

発掘された土器片を手に取り、色や表面の模様、厚さなど微妙な土器の違いを話し合いながら分類することができました。楽しみながら歴史を学ぶことができ、これからの社会科の学習が楽しみになったようです。